



地域フォーミュラリ活用状況等調査結果 (令和6年度大阪府実施)

大阪府健康医療部生活衛生室薬務課

地域フォーミュラリ活用状況等調査 調査の概要

【目的】

地域フォーミュラリが策定されている地域の医師、歯科医師等が、フォーミュラリをどの程度活用しているのか、また、課題や改善点はないのかを把握することにより、今後の円滑で効果的な運用につなげる

【調査期間】

令和6年11月1日(金曜日)～令和6年11月15日(金曜日)

※病院用回答フォームは11月22日(金曜日)まで公開

【対象施設】

大阪市天王寺区、高槻市・島本町、八尾市に所在する診療所及び病院

	対象施設	回答数(回答率)
診療所	大阪市天王寺区	203 78 (38%)
	高槻市・島本町	391 136(35%)
	八尾市	297 126(42%)
	合計	891 340 (38%)

	対象施設	回答施設数(人数)
病院	大阪市天王寺区	8 6 (13)
	高槻市・島本町	17 15 (40)
	八尾市	9 6 (30)
	合計	34 27 (83)

調査結果 診療所及び病院の回答内訳

【診療所】

	対象施設	回答数(回答率)
大阪市天王寺区	医科	141 48 (34%)
	歯科	62 29 (47%)
	無記名	1
高槻市・島本町	医科	244 79 (32%)
	歯科	147 56 (38%)
	無記名	1
八尾市	医科	177 61 (34%)
	歯科	120 65 (54%)
	無記名	
合 計	医科	562 188 (33%)
	歯科	329 150 (44%)
	無記名	2
	全体	891 340 (38%)

【病院】

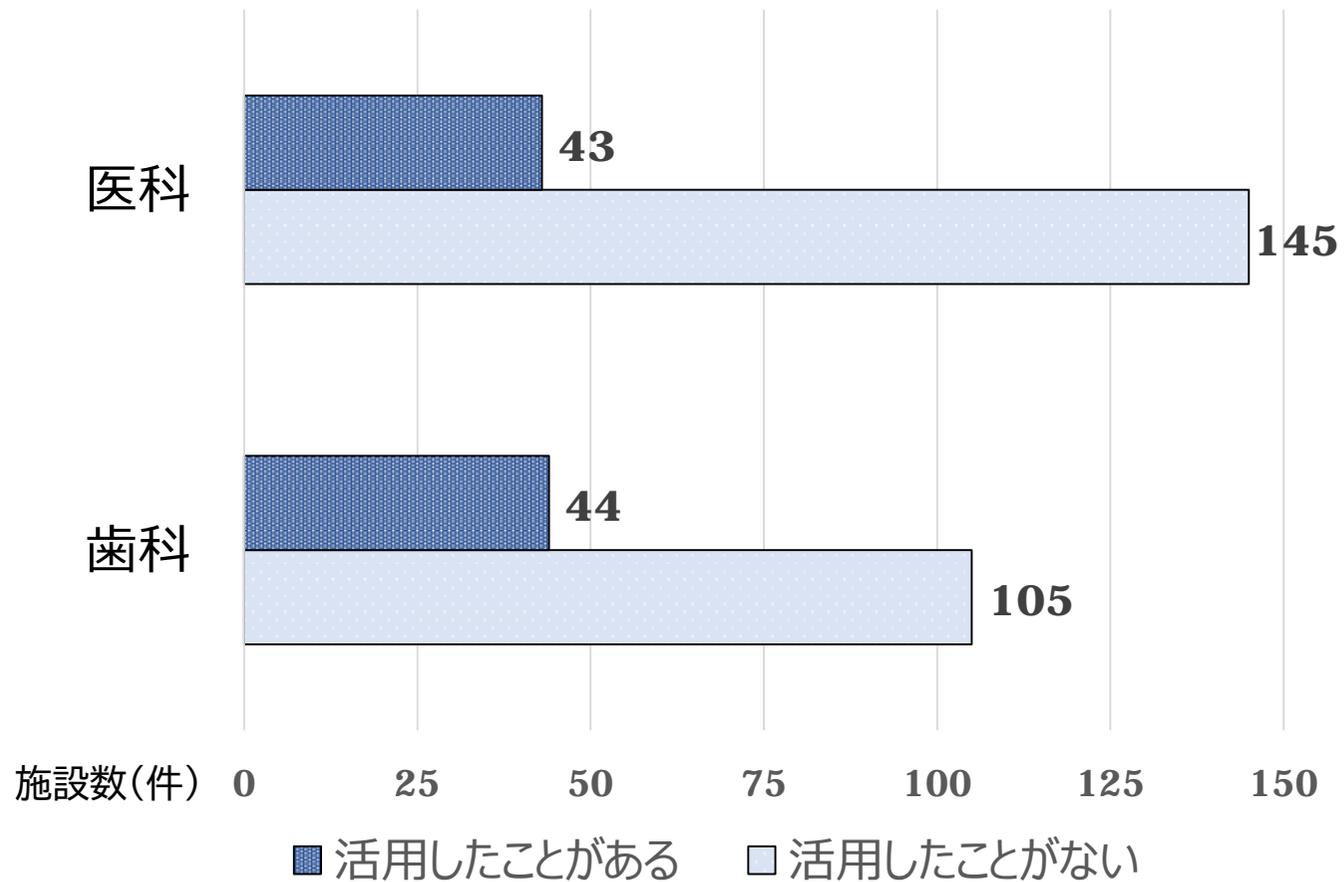
	医師	歯科医師	薬剤師	その他職種	合 計
大阪市天王寺区	1	0	12	0	13
高槻市・島本町	25	0	9	6	40
八尾市	22	2	6	0	30
合 計	48	2	27	6	83

地域フォーミュラリ活用状況等調査 調査項目

番号	調査項目
1	地域フォーミュラリを活用したことがありますか
2-1	(活用したことがある場合) 活用したことがある地域フォーミュラリの薬効群は何ですか
2-2	(活用したことがある場合) 地域フォーミュラリを活用した理由をお聞かせください
2-3	(活用したことがない場合) 地域フォーミュラリを活用したことがない理由は何ですか
3	地域フォーミュラリの活用をより促進するためには、どのようなことが必要になる と思いますか
4	後発医薬品の使用促進のために必要なことについて、何か御意見があれば記載し てください
5	その他、何か御意見があればご自由に記載してください

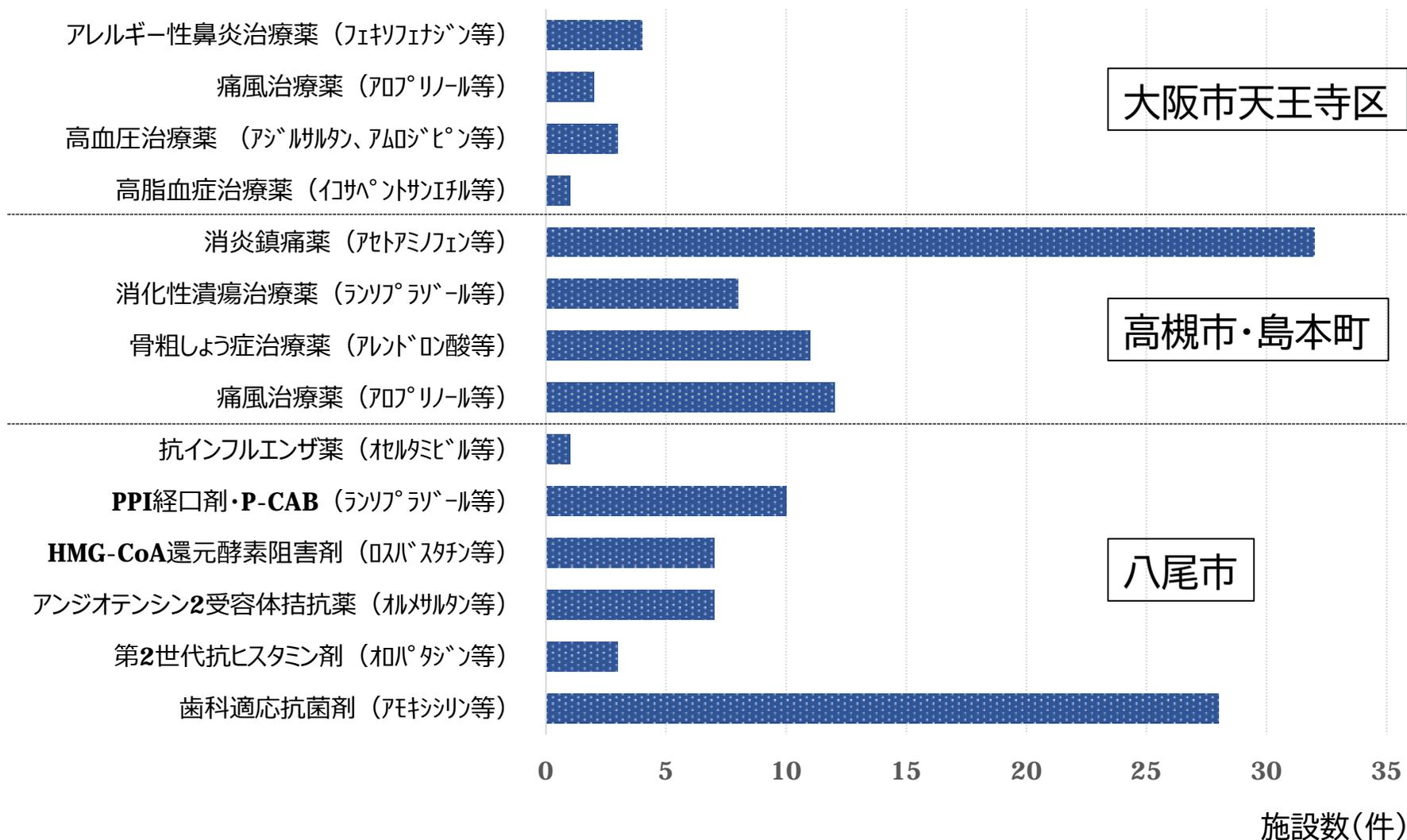
調査結果（診療所）

1 地域フォーミュラリの活用の有無



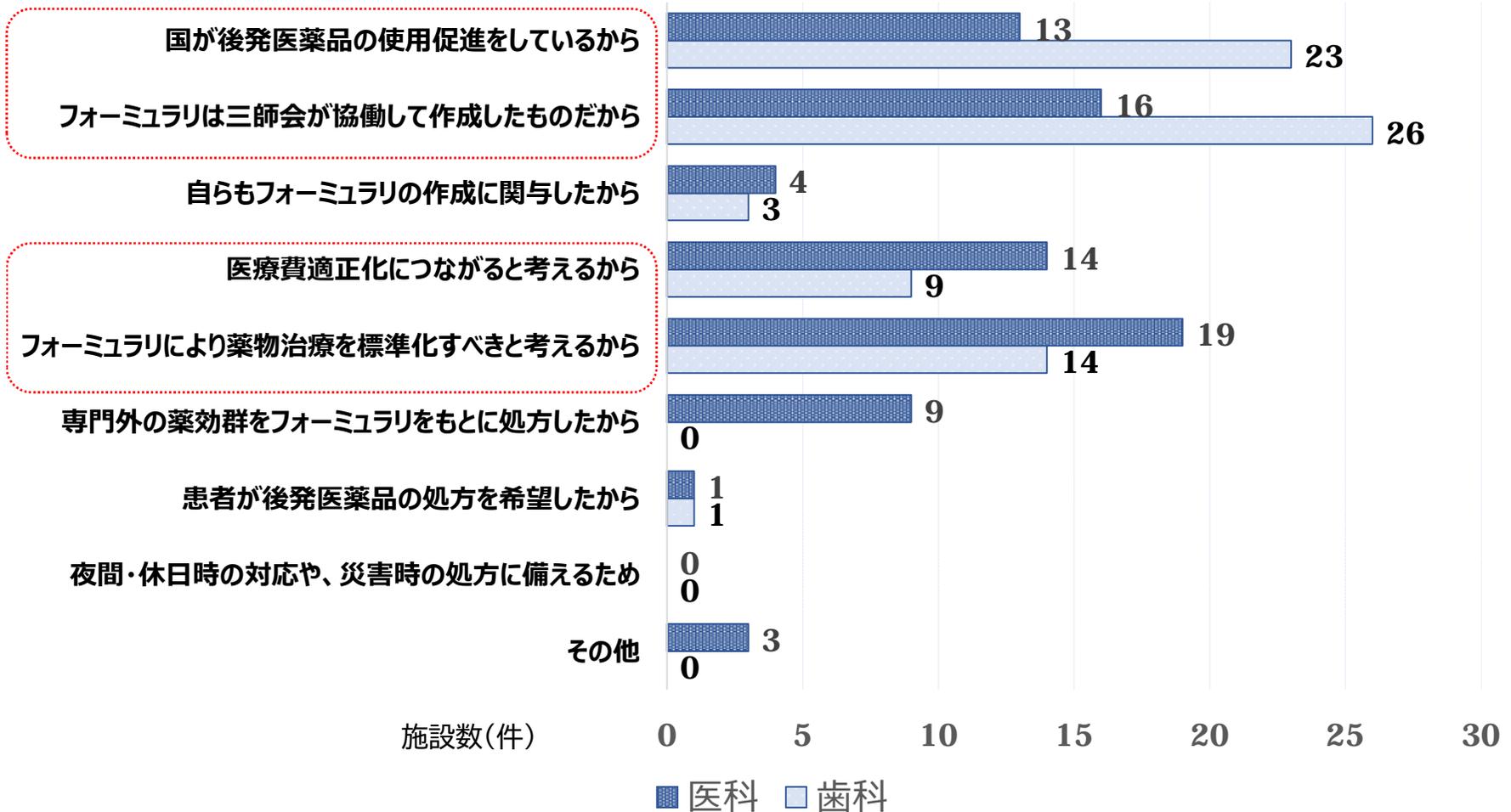
調査結果（診療所）

2 活用したことのある薬効群



調査結果（診療所）

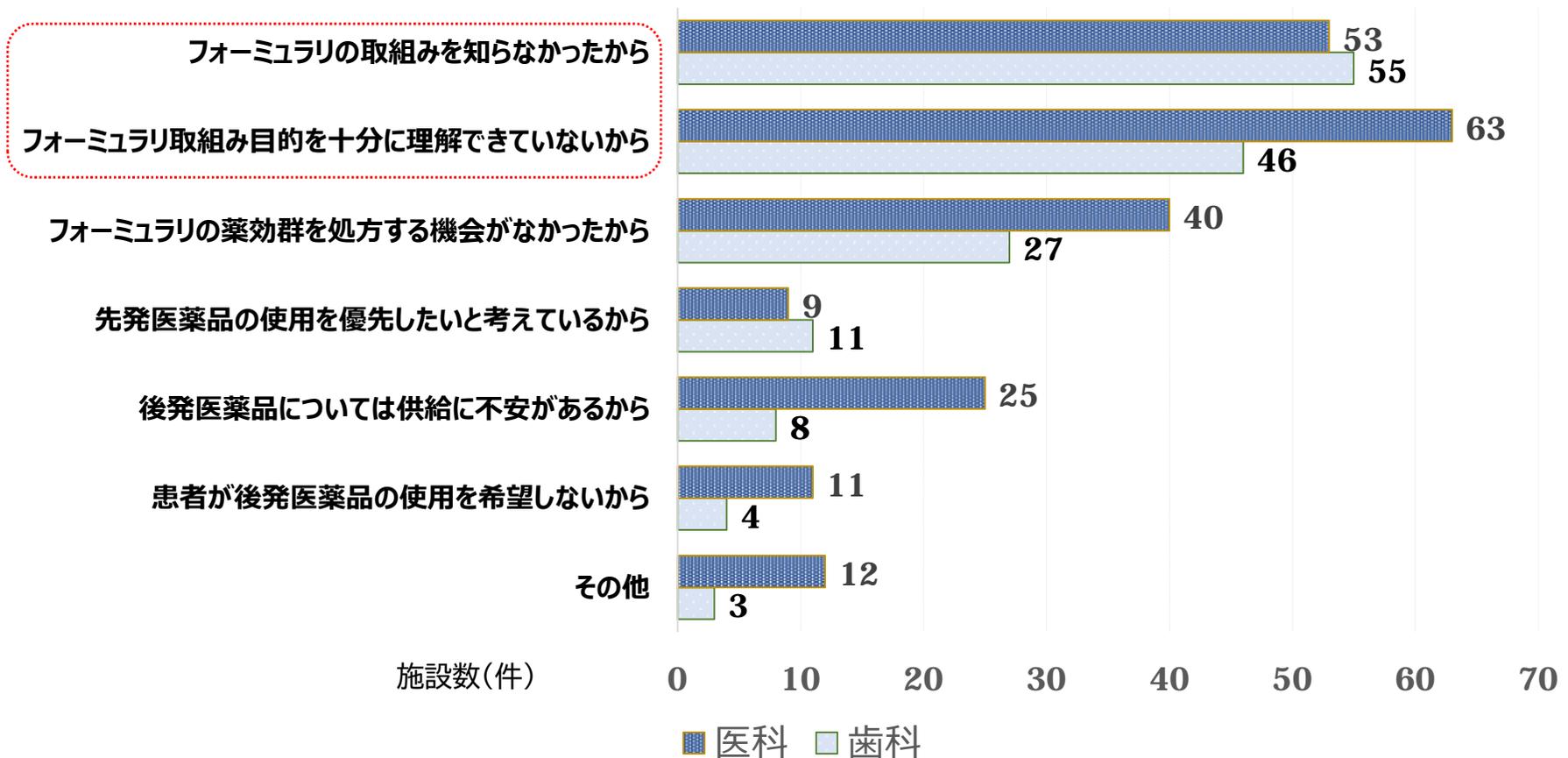
2 地域フォーミュラリを活用した理由（複数回答可）



「その他」の主な回答
 ・時代の流れ ・薬剤師会からの依頼

調査結果（診療所）

2 地域フォーミュラリを活用しない理由（複数回答可）

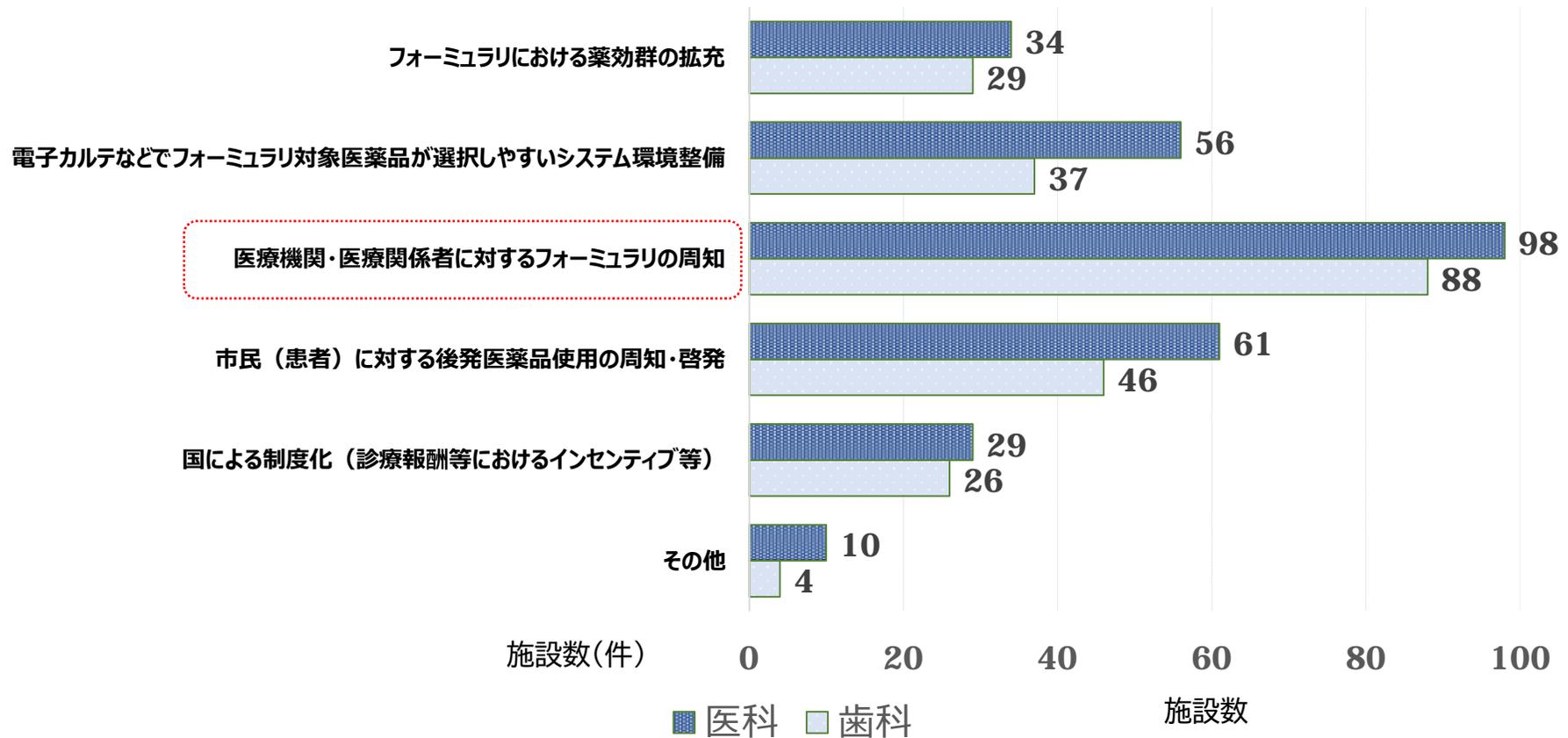


「その他」の主な回答

- ・必要性を感じない。後発薬の評価が知りたい。後発薬が先発品と同じように効く医学的根拠は知らない。
- ・先発品と成分が同じでも吸収や効果が異なる。患者により副作用の発現や効果も異なる。
- ・最新の情報を得る方法や具体的な利用方法が分からない。
- ・後発薬の管理が煩雑。
- ・先発・後発の選択は院外薬局に任せている。

調査結果（診療所）

3 地域フォーミュラリの活用を促進するために必要なこと



「薬効群拡充の希望」の主な回答

- ・抗菌薬
- ・抗不安薬、抗うつ薬、抗精神病薬、睡眠剤
- ・点眼薬
- ・歯科に関連する薬

「その他」の主な回答

- ・安定供給、品質の信頼性
- ・活用により医療費が下がったかのデータ
- ・効果があったか(問題がなかったか)
- ・数社の薬での効果の違いの研究が必要

調査結果（診療所）

4 後発医薬品の使用促進のために必要なこと（5 その他の意見含む）

主な回答の概要

【後発薬等について】

- ・後発薬が効果的で、副作用の少ないことを根拠に基づき明確に説明し、信頼性を高める。
- ・AGの製造を充実させる。
- ・特許切れ先発医薬品の薬価の引下げ。不要な処方減らすべき。

【後発薬の利用について】

- ・診療時間の制約からメリットがないと利用しない。院内処方だが、後発品が十分でない。
- ・「医療上必要」のコメント記載を廃止してはどうか。
- ・後発薬に切り替えることでどれだけ安価になるかを表示する。
- ・先発品の名称を記していても変更可を指示していたら後発薬を可能と取扱いしてはどうか。

【フォーミュラの活用について】

- ・資料を配布するだけではわからないので、勉強会があれば参加して認識を深めたい。
- ・医師の処方権を制限するもので、普及にはもっと医師会の意見を取り入れてほしい。

【後発薬の製薬会社について】

- ・後発薬の製薬会社がつぶれないように適切な点数設定が必要。安定供給につながる。
- ・後発医薬品は乱立しており、再評価して種類を減らしたり、会社の合併を進める。

【その他】

- ・選定療養費制度で、薬価差の25%を患者に負担させるのは問題。
- ・国際競争をする上では創薬に力を入れるべき。

調査結果（病院）

医師

()は回答人数

【活用の有無】

活用したことがある 6名、活用したことがない 42名

【活用の理由】

活用した理由 : 国が促進している(4)、医療費適正化(3)、薬物治療の標準化(2) など

※ 活用薬は、消化性潰瘍治療薬(PPI/P-CAB)、消炎鎮痛薬、
HMG-CoA還元酵素阻害剤(スタチン)、痛風治療薬(尿酸生成抑制薬)
アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)、第2世代抗ヒスタミン剤

活用しない理由 : 取組みを知らない(38)、目的を十分理解できていない(6)、
フォーミュラリ薬効群の処方機会がない(5) など

【フォーミュラリ活用促進に必要なこと】

医療機関等へのフォーミュラリの周知(37)、
電子カルテなどで選択しやすい環境整備(25)、
国による制度化(診療報酬等)(13)、市民への周知啓発(12)、薬効群の拡充(11) など

※ 希望する薬効群としては、高血圧薬、漢方など

【フォーミュラリ、後発薬の使用促進等のご意見】

安定供給、安全性・有効性・信頼性、インセンティブの付与(ナッジ活用含む)、周知・広報、
電子カルテ上で選択できない

調査結果（病院）

歯科医師

()は回答人数

【活用の有無】

活用したことがある 0名、活用したことがない 2名

【活用の理由】

活用しない理由:取組みを知らなかった(1)

【フォーミュラリ活用促進に必要なこと】

市民への周知啓発(2)、医療機関等へのフォーミュラリの周知(1)、
電子カルテなどで選択しやすい環境整備(1)

【フォーミュラリ、後発薬の使用促進等のご意見】

特になし

調査結果（病院）

薬剤師

()は回答人数

【活用の有無】

活用したことがある 8名、活用したことがない 19名

【活用の理由】

活用した理由：薬物治療の標準化(5)、国が促進している(3)、三師会が協働して作成(2)、自らフォーミュラリ作成に関与(2)、医療費適正化(2) など

活用しない理由：その他※(8)、目的を十分理解できていない(5)、取組みを知らない(4)、供給不安(4)、フォーミュラリ薬効群の処方機会がない(3) など

※院内に周知されていない、閲覧方法を知らない、当院の採用医薬品が限られ対象薬がない

【フォーミュラリ活用促進に必要なこと】

医療機関等へのフォーミュラリの周知(20)、電子カルテなどで選択しやすい環境整備(13)、国による制度化(診療報酬等)(13)、薬効群の拡充(8)、市民への周知啓発(5)

※薬効群は、抗凝血薬、高血圧薬、高脂血症、尿路感染・肺炎等の抗菌薬、DPP4阻害薬やSGLT2阻害薬、心不全治療薬

【フォーミュラリ、後発薬の使用促進等のご意見】

安定供給、信頼性の向上、患者の認知度は上がっており、抵抗感も少なくなっている。

フォーミュラリの取組みは地域での治療の統一化や経済性に寄与。

送付されてきたが、院内で周知されていない。どこで地域フォーミュラリを確認できるのか。

地域フォーミュラリに沿った形で院内でフォーミュラリを運用している。

フォーミュラリを地域の拠点病院が中心に推進してほしい。

一般名処方の普及も併せて促進する必要があるのでは。

調査結果（病院）

その他職種

()は回答人数

【活用の有無】

活用したことがある 0名、活用したことがない 6名

【活用の理由】

活用しない理由:取組みを知らない(6)、目的を十分理解していない(1)

【フォーミュラリ活用促進に必要なこと】

市民への周知啓発(6)、医療機関等へのフォーミュラリの周知(4)、
電子カルテなどで選択しやすい環境整備(3)、国による制度化(診療報酬等)(2)

【フォーミュラリ、後発薬の使用促進等のご意見】

特になし

調査結果のまとめ

① 薬効群

消炎鎮痛剤や抗菌剤は他の薬効群と比較して多くの医療関係者が活用している。

→ 幅広く使用される薬効群から取り組むことで、フォーミュラリを導入しやすくなる

② 医療機関における地域フォーミュラリの取組みに対する認知度

取組みを把握していない、目的を理解していないという回答が多い。

→ 三師会で取り組まれている活動を勉強会等で具体的に発信することが必要

③ 病院におけるフォーミュラリの活用

地域フォーミュラリに沿った形で院内フォーミュラリを採用している、

院内で採用されていない薬を電子カルテで選択できないなど、

病院の方針に影響を受けていると考えられる場合が見られた。

また、病院からは地域フォーミュラリを閲覧できないという回答も見られた。

→ 病院との連携方法について検討する必要



府では、これまでのモデル地域の実績を踏まえて、
各地域フォーミュラリの活動(内容、時間、費用等)をガイドブックにまとめることにより、
既存地域での情報発信や新規導入促進につなげる